

+Affiliated with the International Association
THE Y S MEN S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0913
東京都八王子市北野台 2-10-4
久保田 貞視
TEL & Fax: 042-636-3317
E-mail: sskubota21@tokyo.yaz.jp

2026年8月

The Service Club of The YMCA

第374号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会 長 久保田 貞視
副会長 並木 真
書 記 長谷川 あや子
会 計 稲葉 恵子
直前会長 長谷川 あや子
担当主事 西嶋 健太
プリテン 山本英次 大久保重子
並木 真

国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトビッグ（ノルウェー）主題「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」 スローガン「YMI—人生を力づける」
アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン（タイ）主題「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」 スローガン「地域社会を力づけ、世代を鼓舞する」
東日本区理事 山下 真（十勝クラブ）主題「挑戦なくして進化なし」
スローガン「響け 挑戦のブルーミュージック」
あずさ部部長 大和田 浩二（松本クラブ）主題「親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう！！」～改革を引継ぎ、さらに発展させる～
八王子クラブ会長 久保田 貞視 主題「脚下照顧で進一層！」
スローガン「ユースと共に地域社会で奉仕活動を！」

2026年8月 直前会長感謝会プログラム

日時: 8月8日(土) 16:30~18:30
会場:「北海道八王子駅前店」JR八王子駅北口徒歩1分
八王子ツインタワーA館6階 八王子市旭町2-5
担当:A班(稲葉、小口、西嶋、長谷川)
会費:メンバー3,500円 メネット・ゲスト・ビジター4,500円
受付:稲葉・長谷川 司会:西嶋
プログラム
・開会挨拶 会長 久保田貞視
・ゲスト・ビジター紹介 会長 久保田貞視
・直前会長への感謝の言葉 会長 久保田貞視
感謝記念品の贈呈
・会食 歓談
乾杯 あずさ部直前部長 山口直樹氏
会食
・参加者よりひとこと（一人2分以内）
*熊本震災緊急支援募金のために……袋をまわす
ー ゲスト、ビジター、ひつじくも、八王子クラブ
・ハッピーバースデー
東京 YMCA 報告 西嶋健太担当主事
報告・連絡事項 会長・各委員
閉会挨拶 会長 久保田貞視



会長徽章の交換

先月の例会ポイント（7月）

在籍	11名(内、広義会員1名)		
		切手	計 0g
メン	8名		
メイキャップ	0名		
出席率	80%	現金	0円
メネット	1名	スマイル	9,000円
ゲスト	2名	累計	9,000円
ビジター	0名		

今月の聖句（2026年8月）

「見てもらおうとして、人の前で善行をしないように注意しなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から報いが受けられない。だから、施しをするときには、偽善者たちが人から褒められようと会堂や通りでするように、自分の前でラッパを吹き鳴らしてはならない。よく言うておく。彼らはその報いをすでに受けている。施しをするときは、右の手がしていることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを隠すためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

（マタイによる福音書 6:1~4 聖書協会共同訳）

巻 頭 言

令和8年度 会長就任挨拶

会長 久保田貞視

はじめに：現状の認識と課題



当クラブは発足から 33 年を迎えました。設立当初は 50 代前半のメンバーが中心でしたが、現在はメンバーの高齢化が進み、自分の年齢も 87 歳という「おじいさんの年齢」に達しております。会員数の減少という課題を抱える中、次世代を担う若い世代との連携がより一層重要になっています。

ワイズメンズクラブの世界的展望 当クラブが所属するワイズメンズクラブは、100 年少し前にアメリカで誕生した世界的な組織です。現在、全世界で約 3 万人弱の規模ですが、特に韓国やインドでの成長が著しく、インドでは約 1 万人近い会員を擁する勢いを見せています。かつて中近東で労働者として活動していたインドの人々が、今では IT 技術者やビジネスマンとして台頭し、現地のワイズメンズクラブを牽引している事実は、この運動が世界で進化している証です。

今年度の活動方針：

「脚下照顧（きやつかしょうこ）で進一層」

今年度のスローガンとして、禅の言葉である「脚下照顧」を掲げます。本来の意味は「照顧却下」ですが、ここでは「足元をよく見よ」という教えを大切にしたいと考えました。これは、現状を正しく把握し、基礎を固めること、そして将来を見据えて自分自身の人生を輝かせることを意味します。私たちも、現状に甘んじることなく、一人ひとりが自らの足元を省みながら、さらに前へ歩みを進めてまいります。

中央大学・YMCA との連携強化

当クラブの活動において、中央大学の学生（ユース）との連携は不可欠です。25 年にわたる交流の歴史の中で、街頭募金やチャリティコンサート、新入生歓迎会での奉仕活動などを共に歩んできました。今後も、ゴミ拾いや地域イベントへの参加を通じ、学生の皆さんの若い力と知恵をお借りしながら、地域社会へ貢献していきたいと考えています。IYC や AYC への派遣により外国のユースとの交流を進めるなど若手の育成と交流を深めていきます。

地域への貢献と今後の展望

八王子は東京都で唯一の「日本遺産」認定都市です。この誇り高い地域で活動する者として、私たちがその価値を深く理解し、地域の方々に伝えていくことが重要です。また、YMCA からの要請に応じた災害支援募金や、クラブ間交流の推進にも引き続き注力します。

特別な新しい試みができるかは分かりませんが、これまで培ってきた活動の灯を絶やさず、学生との共働を進めるなど、今年度も実直に歩んでいく所存です。皆様のご協力とご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

メネットの喜び

久保田佐和子

皆様こんばんは。突然指名を受けびっくりしました。メネットという立場は、メンという、今は女性のメンもいらっしゃい



ますが、男性メンのパートナーがメネットといわれます。一応メネットとして、こう

いった会議に参加したり、何か行事に参加するのは当クラブでは、今は私一人だけとなりました。だから一言と言われても何もできないのですけれども、唯、クラブ活動に参加してメンを支えることだと思います。またメネットとしての役割について、こうしたらどうですかなんていうことがありましたら、どうぞ私に言ってください。よろしくお願いします。

東京町田コスモスクラブ30周年

長谷川あや子

6月27日(土)、ホテル町田ヴィラにて東京町田コスモスクラブ30周年記念の会がありました。八王子クラブから久保田さん、並木真さん、長谷川の3名で出席しました。西嶋さんは申し込んでいらっしゃいましたが急用で欠席でした。当日は台風7号と8号の間隙を縫っての開催、どうなることかと思いましたが行きは傘もささず、帰りの雨も大したことはありませんでした。DBCの宝塚クラブからは4名の方(花組だそうです)が台風をものともせず、にこやかに参加されてワイズの絆の強さを感じました。

クラブの歩みは1990年、東京YMCA町田センター開設から始まりました。1992年に「東京まちだワイズメンズクラブ」がチャーターされ、以後「ベテランティア・フォーラム」や中高年のボランティア養成を開始されました。1996年、まちだクラブ5周年を記念して子クラブ「東京コスモスクラブ」を設立されました。30周年記念誌は全ページにサルビアと黄色いコスモスが描かれています。サルビアは町田市の花ーチャーターメンバーであった片岡メネットが「まちだクラブ」のバナーをデザインされたのを覚えております。黄色いコスモスは後に「東京コスモスクラブ」のチャーターメンバーに選ばれた松香メネットの卓話「玉川学園に咲く黄色いコスモス」が由来です。2002年に町田センターオフィスは閉鎖されましたが、ワイズメンによる自主運営が定着されています。2015年に東京まちだYMCA開設25周年記



念会が開催されましたが、「30年のあゆみ」の写真を見ますと久保田さんと私が参加しておりました。2018年には子クラブの東京コスモスが東京まちだを吸収合併し、「東京まちだコスモスワイズメンズクラブ」が誕生いたしました。「わくわく科学実験室」は2003年より開始されましたが、コロナ禍にあっても継続され東新部においてCS事業表彰を受賞されました。

30年…長い歴史ですが、最後のページの「召天者」の

お写真に胸がいっぱいになりました。小山正直さん、影山允男さん、後藤邦夫さん、有田士朗さん、谷治英俊さん。懐かしい方々に改めてお会いした気持ちになりました。

プログラム最後のイベントタイムでは東京目黒YMCA OBによる「みんなで歌おう」ととても爽やかな暖かいひとときでした。

コスモスクラブは現在会員8名(内功労会員2名)ですが、それぞれがご自分の賜物を活かしながら他者のために精一杯尽くされていらっしゃる。台風にもめげず素晴らしい一日をありがとうございました。

東京ワイドウエストクラブ キックオフ例会へ

長谷川あや子

東京ワイドウエストクラブのキックオフ例会に出席いたしました。

東京西、東京武蔵野多摩、東京たんぽぽの三クラブがひとつのクラブになりました。

キックオフには関東東部、あずさ部、富士山部からも出席があり30名くらいの例会となり大変活気がありました。秋田正人さんと堀口廣司さんの入会式があり、司式はあずさ部部長の大和田浩二さんがなさいました。

あずさ部は11クラブから9クラブになりましたが、きっと勢いづくことでしょう。あずさ号の新しい出発です！



新クラブ誕生・おめでとうございます！



日本遺産： 「靈氣満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」

八王子市文化財課（日本遺産担当） 併日本遺産推進課
三原 聡 様

八王子市の日本遺産講座 要約

1. 講座の目的と主旨



本講座は、認定6年目を迎える東京都唯一の「日本遺産」である八王子市の郷土文化や歴史的魅力を広く市民・参加者に伝え、認知度向上と地域への愛着（郷土愛）を育むことを目的として開催された。

2. 「日本遺産」制度の概念と世界遺産との違い



●**日本遺産の定義**：平成27年度(2015年度)に文化庁が創設。単体の文化財そのものではなく、地域の歴史的魅力や特色を紡いだ「ストーリー(物語)」を認定する制度(全国で104件が認定)。

●**世界遺産との比較**：

○**世界遺産**：文化・自然遺産の「保護・保存」が主目的。

- **日本遺産**：文化財を観光や地域振興に「活用」することが主目的。活用によって得た収益を保存に再投資する「文化観光」の好循環を目指す。継続的な活動がない場合、認定が取り消されることもある。

3. 八王子の日本遺産ストーリー

- ストーリー名『靈氣満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ

桑都(そうと)物語～』(令和2年6月認定)

- **背景と概要**：戦国武将・北条氏照が八王子城を築城して以来、八王子は養蚕や織物産業が非常に盛んで、「桑都」と称されてきた。養蚕農家や絹商人たちは、古来より霊山として崇められてきた高尾山(薬王院)を深



く信仰。願掛けが成就するたびに感謝として「杉の苗木」を奉納し、その活動が高尾山の豊かな自然環境と生態系を守り育てることにつながった。

4. 主な構成文化財と伝統文化

八王子の日本遺産は、点在する30の構成文化財が面として結びついて構成されている。

1. **歴史・自然遺産**：高尾山、八王子城跡、滝山城跡、絹の道(浜街道)など。
2. **伝統芸能・祭礼**：
 - 八王子まつり：関東屈指の山車まつり。
 - 伝統芸能：国指定重要無形民俗文化財の「八王子車人形」、江戸から伝わる「木遣(きやり)」、花街文化を継承する「八王子芸妓」、悪霊退散・雨乞いを祈る「獅子舞」など。
 - 行事：高尾山の「火渡り祭」など。
5. **近代における歴史的意義と今後の取り組み**

- **近代日本の発展と「絹の道」**：八王子で生産・集荷された生糸は「絹の道(浜街道)」を通して横浜へと運ばれ、海外へ輸出された。この絹産業は外貨を獲得し、近代日本の発展や日本の独立維持にも貢献した。
- **文化の継承と活性化**：八王子市では「桑都テラス」をはじめ、新たにオープンする「桑都の森(歴史郷土ミュージアム)」などの施設・拠点を活用し、展示やイベントを通じて伝統文化の継承、後継者育成、そして市民の郷土愛醸成に向けた取り組みを継続している。



今月の聖句に寄せて (2026年8月)

「愛は世界の共有である。

神の栄のために輝く

私がしたのでも他人がしたのでも

うまれた愛には持ち主は無い」

(八木重吉詩集「神を呼ぼう」—新教出版社—より)

西東京市で活動している地域子ども会「杉の子会」が昨年創立 50 周年を迎えて記念会が催され、その後、記念誌も発行されました。杉の子会は、行政や町内会、また、他の組織の傘下にはなく、ボランティアによる独立した団体として、野外活動、グループ活動を中心に、地域の子どもの成長に関わってきました。活動は、親から子、子から孫へと3代にわたり、ユースボランティアを中心に、高校生からシニアまでのボランティアによって現在も支えられています。自立した地域のボランティア団体が永きにわたり、その地域の子どもの成長に貢献し続けるのは稀有なこととして、これまで市や都、ボランティア活動推進団体などから、表彰もされてきました。町内会や行政主導の地域の子ども会などが衰退していく中で、杉の子会がこれほどの永きにわたって活動をつづけ、なお、現在も活発に活動を続けられている秘密はどこにあるのでしょうか。

「杉の子会」は、地域の保育園と、YMCA の、子どもの成長に関わる共通の願いと協働によって生み出されました。しかし、そのいずれに所属させることをせず、地域共有の働きとして、支援はいとわれないが、また、双方が匿名化されることもいとわなかったことにその秘密のひとつがある、と私は考えてきました。

右の手のしていることを、左の手に知らせてはならない、と説く、イエスの言葉と共に、愛は世界の共有であって、だれがしたのでも、生まれた愛には持ち主はいないのだという、八木重吉の詩に思いを重ねています。

並木信一



高尾わくわくビレッジ便り

館長 西嶋健太

蝉しぐれが響く夏休み、高尾の森わくわくビレッジは連日、多くの子どもたちやご家族の笑顔でにぎわっています。今夏も夏のキャンプをはじめ、複数の大学と協力したイベントを予定しており、職員一同、心を入れて準備を進めています。

夏のキャンプで行う川遊びに向けては、ボランティアリーダーとともに川の下見を実施しました。水の流れや足元の状況などを丁寧に確認し、安全を第一に、子どもたちにとって実りある体験となるよう話し合いました。

また、東京都によるモニタリングが行われ、第一四半期の営業概況をご報告しました。利用者の皆さまから寄せられるさまざまなご意見に対し、常に丁寧に、適切な方法で対応している点について、お言葉をいただきました。日頃から支えてくださる皆さまに、深く感謝申し上げます。

7月28日に発生した熊本地震に際し、東京YMCAでは早速、緊急支援活動を始めました。被災された皆さまが一日も早く穏やかな暮らしを取り戻されますよう、心よりお祈り申し上げます。



ひつじぐも便り

中央大学総合政策学部国際政策文化学科
3年 霞ひかる

厳しい暑さが続く毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ひつじぐも委員長の霞ひかるです。7月は大学のテスト期間であり、月末にようやく試験が終わり、キャンパスも夏休み前のわくわくした雰囲気になっています。私自身も、大学の試験やゼミでのレポート執筆、就職活動が重なり、慌ただしい1か月となりました。一方で、ひつじぐもでは1・2年生が中心となって積極的に活動を進めてくれており、とても頼もしく感じています。委員長としてすべての活動に参加できない場面もありましたが、後輩たちが主体的に動き、ひつじぐもを支えてくれていることを実感した1か月でもありました。

7月はYMCA関連の活動が多く行われました。7月3日には、関東学生YMCAの各大学から学生が集まり、春のオリエンテーションが開催されました。皿うどんを作って一緒に食べながら、各学生YMCAの活動紹介や交流会を行いました。普段は他大学の学生YMCAメンバーと交流する機会が多くないため、大学での学業に励みながら、それぞれの学生YMCAを盛り上げようと活動する仲間と直接顔を合わせて交流してきたことで、とても新鮮で有意義な時間となりました。特に、寮で共同生活を送りながら聖書研究を行っている学生YMCAや、牧師の方を招いて講演会を開催している学生YMCAもあり、ひつじぐもとは異なる活動に興味深さを感じました。

また、7月11日には、いつもお世話になっている日野市のみさわ児童館でボランティア活動を行いました。本格的な猛暑の中での活動となりましたが、こまめに水分補給を行いながら、子どもたちと元気いっぱい遊ぶことができました。暑さの中でも全力で遊ぶ子どもたちの姿に、私たちも多くの元気をもらいました。

8月は夏休みです。ひつじぐものメンバーにも、それぞれ充実した夏休みを過ごし、リフレッシュしてほしいと思います。秋の世代交代に向けて、一つひとつの活動を大切にしながら、メンバー同力を合わせて取り組んでいきます。



東京 YMCA 便り

担当主事 西嶋健太

- 6月19～21日、日本YMCA同盟東山荘で「第16回日本YMCA同盟協議会」が開催され、東京YMCA選出代議員として、松本拓也氏(会員)、星野総主事が参加した。協議会では、同盟事業方針・計画等の協議の他、アジア・太平洋YMCA同盟 Sunita 主事より「YMCAのキリスト教アイデンティティー」と題した基調講演や、世界YMCA Vision2030の活動事例紹介等が行われた。
- ベネズエラで6月24日に大規模な地震が発生し、ベネズエラのYMCAから日本YMCA同盟に緊急支援要請があったことを受けて、全国のYMCAは「ベネズエラ地震緊急支援募金」を開始した。東京YMCAでは7月16日に高田馬場駅周辺で街頭募金を実施し、54,250円が寄せられた他、各拠点で9月末まで募金活動を行う。
- 7月13日から17日、日本YMCA同盟東山荘にて、「全国YMCA専門職管理者研修」が開催された。YMCAの保育園、幼稚園、学童保育、高齢者施設等において、専門的なリーダーシップを担う職員を対象として実施され、全国7つのYMCAから16名が参加し、東京YMCAからは4名が参加した。「人間関係能力の開発と自己理解」、「YMCAの使命とキリスト教基盤」(講師:佐久間健牧師(恵泉キリスト教会つくばグレースチャペル))、「組織の管理と運営」などのテーマで研修が行われた。
- 東京YMCAのホームページが7月16日にリニューアルした。東京YMCAが大切にしている願いや活動の価値がより明確に伝わるよう、デザインおよびページ構成を一新。あわせてスマートフォンなどの端末からも閲覧しやすい仕様に変更した。
- 今後の主な行事予定
 - ・「早天祈祷会」8月3日(山手センター/オンライン) 奨励:峰毅氏(東京YMCA会員部運営委員)
 - ・「第21回世界YMCA大会」7月19日～7月25日(カナダ・トロント)
 - ・「外国にルーツのある子どものサマーキャンプ」8月21日～23日(山中湖センター)
 - ・「第40回インターナショナル・チャリティーラン」 駅伝大会:9月26日(都立木場公園) オンラインウォーキング大会:11月下旬～12月上旬

8ページ上段へ続く

7ページ下段からの続き

- ・「第2回ユニバーサルフェスタ」10月3日、4日(山中湖センター)
- ・「第24回日本YMCA大会」11月27日～29日(日本YMCA同盟東山荘)
テーマ:Evolving Together
- 6. 海外来訪者 6月24日
・アジア・太平洋YMCA同盟 Sunita Sana 主事

今月の例会報告

2026年7月第一例会・報告

書記 長谷川あや子

日時:2026年7月11日(土)18:00～20:00

会場:北野事務所調理室

出席:稲葉、久保田、久保田佐和子、並木真、西嶋、長谷川、花輪、望月、山本

卓話者:三原聡氏 ゲスト:酢屋善元

ひつじくも:霞ひかる、小倉美柚、吉川日奈子

・会長引継ぎ式—久保田会長、長谷川直前会長

・今年度の会長主題・抱負

・卓話:日本遺産「霊気満山 高尾山〜人々の祈りが紡ぐ桑都物語〜」

・報告:NYCに吉川日奈子さん応募

・ハッピーバースデー:稲葉さん、花輪さん

・スマイル:9,000円

●7月第二例会

日時:7月25日(土)18:00～19:20

会場:北野事務所小会議室

出席:久保田、稲葉、並木真、花輪、望月、長谷川

・2026-27会計予算について検討。後日メール添付

・8月第一例会プログラムについて確認

・NYCの件—吉川日奈子さん参加決定

八王子クラブから2万円支援する。

・ベネズエラ地震支援募金—8月第一例会にて募金
(その後、熊本地震支援に変更)

・第38回YVLF—9月4～6日 わくわくビレッジ
日帰り参加—久保田、長谷川

・第40回東京YMCAチャリティラン—9月26日
八王子クラブから1チーム エントリーする。

・第一例会の卓話について検討

予定・10月「NYC報告」11月「野鳥の話」

12月クリスマス会—礼拝、音楽の夕べ

・10月から第二例会はZOOM開催とする。

資料は会長よりメール添付する。

※あずさ部第1回評議会—久保田、稲葉、長谷川

8月ご誕生されたメンバー

並木 美奈子さん 8月23日

7月の誕生祝い



久保田会長 花輪宗命メン 稲葉恵子メン

熊本震災緊急支援

あなたの力が必要です!
復興を応援しよう

寄付募集中

ボランティア参加

八王子クラブも応援しております